

大風 便り

第95号

大風会館HP <http://oodako.net/>

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界風博物館東近江大風会館 平成26年4月24日発行

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町 3-5

TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860

IP: 050-5801-1140

開館時間: 9時~17時 休館日: 毎週水曜日、第4火曜日、祝日の翌日

平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎週第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

三年ぶりに新しくなった100畳大風が舞う!!

2014年東近江大風まつり

平成26年5月25日(日)

9:20~15:00

会場: ふれあい運動公園

(滋賀県東近江市栗見新田町地先)

東近江大風は3年に一度新調され、絵柄は向き合った「燕(つばめ)」の下に「繫」という文字を書き、「縁(えん)(燕=えん)あって繫(つな)がる」と読み、人が縁あって出会い、繫がり、ふれあい、絆を深めて互いに成長して豊かな人生を送っていただきたいとの願いを込め、今年が初めての飛揚の年となります。

会場は昨年と同じく「東近江市ふれあい運動公園」で開

催します。大風まつり会場には駐車場がありません。JR能登川駅西口および特設駐車場や東近江大風会館から発着の「無料シャトルバス」をご利用ください。

大風まつりの情報は、

<http://oodakomuseum.shiga-saku.net/c44920.html>

をご覧ください。

＝2014年風の女神＝

「2014年風の女神」が4月14日(月)に発表されました。風の女神は、5月25日(日)に開催する大風まつりで、100畳敷大風が空高く舞い揚がるために、よい風が吹くよう祈念するほか、まつり当日を含む大風まつり関連事業に参加し、イベントを盛り上げます。選ばれた「風の女神」は、羽原なおこさん(大津市)、池田由彩さん(甲賀市)、清水翔子さん(東近江市)、山田早紀さん(東近江市)の四名です。なお、清水翔子さんと山田早紀さんは、東近江市観光協会のレインボー大使でもあります。委嘱式当日は、実行委員会会長の小椋市長から風で出来た委嘱状が手渡され、委嘱を受けた4人の女神は、「明るく元気いっぱい、良い風を吹くように頑張りたい。」と話していました。



昨年から新しくなった風の女神の衣装は、琵琶湖が生み出す湿潤な気候と鈴鹿山系の豊富な水から生まれた滋賀県が誇る地域ブランド「近江の麻」を用い、地域に根ざした衣装を作ろうとのコンセプトのもと、東近江大風まつり×「近江の麻」湖東繊維工業協同組合×成安造形大学がコラボしたものです。



昨年から新しくなった風の女神の衣装は、琵琶湖が生み出す湿潤な気候と鈴鹿山系の豊富な水から生まれた滋賀県が誇る地域ブランド「近江の麻」を用い、地域に根ざした衣装を作ろうとのコンセプトのもと、東近江大風まつり×「近江の麻」湖東繊維工業協同組合×成安造形大学がコラボしたものです。

「子ども達の夢」や東日本大震災からの「復興の願い」を込めた「願い札」を100畳敷大風に貼ってみませんか。

5月5日(祝)
10:00~12:00

会場: 世界風博物館東近江大風会館駐車場

「願い札貼り」
100畳敷東近江大風が舞い揚がる「東近江大風まつり」を今年は5月25日(日)に「ふれあい運動公園」(滋賀県東近江市栗見新田町地先)にて開催します。
まつり開催前の5月5日に、みなさんの夢や希望を書いた「願い札」や3年前の3月11日に発生した東日本大震災の復興への願いを込めた札を、まつり当日に飛揚する100畳敷大風に貼り付けていただき、子どもたちの健やかな成長や東日本大震災から日本の復興が一日も早く進むよう大風に託していただきます。
「願い札」は1枚500円とし全額震災復興の義援金とします。大風まつり当日は、みなさんの願いが「叶う」ように、この百畳大風を嵐風の空に舞い上げましょう!!

1枚 500円
売上金は義援金とします。

＝100畳大風＝
「縁あって繫がる」
平成25年の7月～8月の期間、約1か月、延べ製作人数:630人で製作しました。
図柄は、風の上部に「燕(ツバメ)」が向き合うように描き、下部に「繫」という文字を書き、判じもんを、燕(ツバメ)は音読みでエン=縁)が向き合っ(あつて)繫という文字をあわせて、「縁あって繫がる」となります。

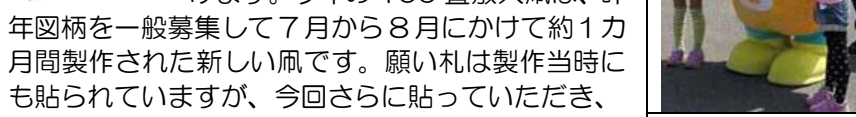
お問合せ先
東近江大風まつり実行委員会 0748-24-1234
世界風博物館東近江大風会館 0748-23-0081

・参加者には大風をバックにした記念撮影(無料)
・お子様を対象に、餡のつかみ取り
・風作りコーナー(有料)あり



＝大風に願いを! 願い札貼り開催＝

今回ご紹介するのは、「願い札貼り」です。毎年5月5日のこどもの日に、東近江大風まつりのイベントとして、100畳敷大風の裏側にお願いごとを書いた札「願い札」を実際に大風の上に乗って貼っていただけます。今年の100畳敷大風は、昨年図柄を一般募集して7月から8月にかけて約1か月間製作された新しい風です。願い札は製作当時にも貼られていますが、今回さらに貼っていただき、皆さんのたくさんの願いを乗せて大風高く舞い上げます。なお、100畳敷大風は3年間連続風揚げで使用しますので、今年貼ると来年・再来年と願いは継続しますので、初年度の今年はぜひ貼っていただきたいと思います。そして先日発表された2014年の風の女神4人の紹介もあります。昨年から新しくなった近江の麻で出来た衣装を着ての登場となります。こちら楽しみです



キャフィーも登場

ね。さらに願い札を貼った後は、貼った大風の上で記念撮影、子ども対象に餡つかみ体験(無料)や風作りコーナー(有料)を設けていますので、ぜひ1年に1度の風の上に乗るイベントにご家族そろってお越しください!



昨年の様子

≡ミニ東近江大凧作り講習会開催≡



5月25日(日)に開催される2014東近江大凧まつりの中で行われる「ミニ東近江大凧コンテスト」に出場されます各種団体の皆さんの凧作り講習会が大凧会館別館で行われています。第一回目の講習会は4月15日(火)から2畳サイズ7チームと8畳サイズ1チームの製作が始まっています。連日午後7時30分から午後9時30分迄の2時間、東近江大凧保存会の皆さんと東近江大凧会館の職員の指導により、骨組み作りから紙継ぎと順次作業を進めて頂いております。最初は、むずかしそうだなと思っている人も、少しなれてくると声をかけあいながら、和気あいあいと作業に取り組んでいます。また、東近江大凧の特色の一つでもある判じもんには各チームがそれぞれチームで考えた図柄で非常に楽しみです。第一回目の講習会は4月22日(火)迄で、第二回目の講習会は5月7日(水)から5月17日(土)迄となっています。

昨年から大凧まつりの会場も、能登川地区の東近江市ふれあい運動公園で開催されており、ミニ大凧コンテスト専用会場も設けられ琵琶湖からのいい風に乗って、100畳大凧に負けぬように皆さんの作られたミニ東近江大凧が、大空高く舞上がるように又、当日のコンテストでは、いい賞に選ばれますように、期待しています。

製作の様子



骨組作業



紙継ぎ作業



絵柄作業



絵柄作業



合体



糸調整

新100畳敷大凧「縁あって繋がる」スタンプが登場！！



東近江大凧会館では、2014年東近江大凧まつりで初めて飛揚する「新100畳敷東近江大凧～縁あって繋がる～」の図柄をデザインしたスタンプを作り、訪れた来館者の皆さんに、記念で押しただくよう呼びかけています。

大きさ：縦10cm、横9cm

≡2014年5月の予定≡

- 1日(木)～6月8日(日)
能登川博物館「東近江大凧」関連展示
- 6日(火)まで 鯉の凧展開催中
- 5日(月) 2014年東近江大凧まつり「願い札貼り」
- 7日(水)～16日(金) 第2回ミニ東近江大凧作り講習会
- 14日(水) 大阪聖母学院4年生 角凧づくり指導
- 18日(日) ミニ東近江大凧コンテスト事前説明会「糸目付」
- 18日(日) 家族ふれあいサンデー
- 24日(土) 東近江大凧まつり「歓迎レセプション」
- 25日(日) 2014年東近江大凧まつり
- 29日(木) しゃくなげ会 凧作りと見学

鯉に祈れば恋に芽生える？

～みんな来い！来い！～ 「鯉の凧展」開催中です！

期間：4月17日(木)～5月6日(火)まで

開館時間：9:00～17:00(最終入館16:30)

期間中の休館日：毎週水曜日



みなさんお花見は行かれましたか？桜は見ごろを過ぎてしまうと一気に色あせ散ってしまいますよね。慌ててお花見の計画をされた方もおられたのではないのでしょうか。桜が終わると、過ごしやす暖かな日が増えていきます。お散歩やドライブ、ちょっとしたお出かけのついでに、大凧会館まで足を運んでみてくだ



い。大凧会館では5月5日の端午の節句にちなみ、「みんな来い！来い！鯉の凧展」を開催中です。皆さんご存じの鯉と金太郎・こいのぼりを開いて凧にしたもの、暴れる巨大鯉を退治する伝説を描いた凧など大小様々な鯉の凧を16点展示しています。



鯉と「芽」「生」の文字で「恋に芽生える」となります。ゴールデンウィーク中、恋のパワースポットとして、ぜひ皆さんのご来館をお待ちしています。

ぜひご家族でお越し下さい。

土曜日・日曜日・祝日には小学生以下のお子様限定で、鯉の歩行凧・鯉のペーパークラフトを無料で作っていただけます。

≡全国各地の凧の競演≡

今年フランス・イギリスからも参加

今年の大凧まつりも全国各地からの凧の愛好家が集まり、自慢の凧を東近江市の空に揚げさせていただきます。今年是国内だけでなく、フランスはパリにあるケ・ブランリ美術館の研究者のラリ・セシルさんとイギリスから凧の研究者のポール・チャップマンさんが参加されます。日本国内では、東は埼玉県から西は広島県まで1都2府17県より、54団体の凧名人約180人の参加があります。日本を代表する「江戸凧」、埼玉の「川越扇凧」、山梨の「甲州凧」、富山の「越中だいまんだるま凧」、静岡の「浜松凧」、愛知の「名古屋古流凧」、大阪の「文楽凧」、奈良の「吉野そでいか」など日本各地の凧揚がる他にも、本物の鳥にそっくりな凧や畳6枚分の大きさがある凧、連凧なども揚がります。

≡株式会社コクヨ工業滋賀へ「東近江大凧」の寄贈≡



東近江大凧保存会は、平成26年5月27日から一般のお客様向けの工場見学を開始する株式会社コクヨ工業滋賀に東近江大凧を4月17日に寄贈しました。

寄贈した大凧は、葦(ヨシ)の活用が水質浄化や生態系生態系保全など環境維持につながることから、琵琶湖・淀川水系のヨシを使用したコクヨ工業滋賀オリジナルブランド

の紙製品「ReEDEN(リエデン)」の紙を使い、絵柄は上部にノート、下部の文字は「葦」を書き、「ノートにヨシ!(葦)」となります。

なお、この大凧の製作については、ヨシの紙にコクヨ工業滋賀が絵柄を描き、東近江大凧保存会が凧として作り上げたものです。

寄贈された大凧は、ヨシ30%紙を使用した大凧として工場見学のコーナーに展示されます。

コクヨ工業滋賀の一般のお客様見学については下のアドレスを。

https://www.kokuyo-shiga.co.jp/csr/kps_factorytour/